



友池厩務員の手から牧草を食べるファビュラスライン

小島友実の あの馬の STORY



ファビュラスライン

9月1日に新潟1400mで「トライ」した「ファビュラスライン」は現在、2勝2つ。在籍していながらバギットの半妹。姉妹の母の「アーリーライセント」もかつてクリーンフアーレ所属していた馬ですから、「ファビュラスライン」は法田してくる方は多いのではなでしまいか。管理する黒岩陽一調教師も、預かる事が決まつた当初からこの血統背景を意識してたみたい振り返ります。

「昨年夏に牧場で初めて「トライ」を行つた時、肉つきの良さタイプで小柄なのにバランスが良くて力強さがある印象を受けましたね。姉の「アーリーライセント」が6歳の新馬戦から始動していくのが、この馬も早期からの活躍であそつなイメージが湧きました」

その言葉通り育成は順調に進み、今年5月に美浦へレコード入厩。ゲート試験は一度田で合格するなど順応性の高さを見せましたが、「調教の動きがいいですね」という馬が湧きました。

「この馬の良いところは体力ではない」という判断で、山元トレーニングセンターへ「一歩あるがゆうは体力ではない」という判断で、山元トレーニングセンターへ放牧に出されました。

その後、8月20日に美浦へ帰厩。「デビューに向けての再調整が始まりました。

「牧場で乗り込んで頂いただけであつて体がしほむ事なく、強い調教を重ねられました。体力も少しあがつてきれてこんな実感があつましたね」

新潟の1400mで「トライ」する理由は、ほんとうな理由だったのです。

「血統面などからもう200kgが重いかなと思つたのですが、短い距離で忙しい競馬をするのが持たないから」とか

より、初戦は自分のペースで行けた。1400mの方々がベターダッシュをしました。勝ち負けをつかむ強さにはなれませんが、順調に調整が進みましたから、期待感を持って送りだせましたね。武藤雅騎手は、「練習通りのペタードが早さ」のまま、自然と前回の力みよりも感じ」とお願いしました。

「いつものドバイ一戦を迎えた「トライ」ラバウンド。結果は1着でした。

「想像していた通り、スタートは限かれています。ただあの日の新潟は開催最終日で、ずっと馬場の荒れた内側を走る流れでした。のめりて走る箇所もあつたので、全能力を發揮できなかつたと思ってます。武藤騎手も『パンパン』の良馬場の方が良い」と語りました。収穫は鞍具所からペースを落として馬をレースに臨む過程で落ち着いていた点。精神的に余裕があり、気持ちの切り替えができるので、今後は競馬を使うことによって成長が期待できると思います」

初戦前からこの馬を担当する友池泰典厩務員は馬鹿の様子を聞きました。「人を信頼してくれる」と手がかかるないです。馬鹿でも無駄な事をしませんね。あとは飼葉かな。普通の馬の三分の二位しか食べない。もつ少し食べてくれれば良さであります(苦笑)」

やけに飼葉を食べてもいいねとい友池さんは給餌の回数を増やすなりの工夫をしていましたが、「結局、食べた量はえた総量の三分の二位になつてしまつた事。ただし、この取材後は出走前よ

り後も期待できると思います。黒岩調教師の馬が持つ可能性や課題点を伺いました。

「とにかく真面目で一生懸命走るいい子が長所です。そして気持ちの切り替えが上手。これは今後の強さにつけて、しっかりと走る姿勢が全体的なパワーアップが必須ですね。調教を積む過程で馬体がしぶきを感じさせてもらえて、体力強化していける下地はあると思います」

今後の展望を伺いました。

「初戦の後、馬体は維持できていますので、続戦します。9月22日に組まれる中山のダート1400m(牝馬限定)に出走予定です。善戦を期待しますね。」「トライ」一戦で前回おさげた面を見せなかつたし、現段階での馬の体力からすると芝の1200mがベターで、もしかしたらスギフレンドがダートで結果をだして、この中山のダート1400m(牝馬限定)に出走予定です。善戦を期待しますね。」「トライ」も選択肢としては一つではない。ハーフ・ハーフキットは初勝利に時間がかかつたとの事ですが、姉同様にこれから成長していくくれる感じですね。グリーンファームさんの馬を預かりせて頂くのは久しぶりです。まずは「トライ」ラバウンドで初勝利を挙げて、秋のクルーズのパートナーで会員さん達と来年に向けての夢を語り合いたいですね。そのためにも厩舎一丸となって頑張ります」

「素晴らしい道」という意味が込められていて「トライ」ラバウンド。その道程はまだベターダッシュがかかる。

(取材日: 9月3日・17日)

競馬キャスター＆ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます(王婦の友社刊)」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。

profile